

R6公衆栄養学実習Ⅱ ルーブリック

	A優れている	B普通	C努力を要する	D達成できたとは言えない (1つでもあると不合格)
1, 公衆栄養学臨地実習先の保健所及び市町村の機能、及び管理栄養士の業務内容と果たす役割（使命感や倫理観を含む）について説明できる (B,D)。	保健所や市町村の機能や管理栄養士の使命感や倫理観も含めた業務内容に深い理解があり、それらを適切に説明できる。	保健所や市町村の機能や管理栄養士の使命感や倫理観も含めた業務内容を理解しており、それらを説明できる。	保健所や市町村の機能や管理栄養士の使命感や倫理観も含めた業務内容について基本的な理解があるが、十分説明できない。	保健所や市町村の機能や管理栄養士の使命感や倫理観も含めた業務内容について理解が不十分であり、説明できない。
2, 保健所及び市町村の地域の健康・栄養問題等の把握や地域における健康状態の改善や生活習慣病の予防に必要なとされる健康・栄養関連計画及び事業実施について説明できる (D,G)。	地域の健康・栄養問題や計画策定に関して深く理解しており、それらを適切に説明できる。	地域の健康・栄養問題や計画策定に関して理解しており、それらを説明できる。	地域の健康・栄養問題や計画策定について基本的な理解はあるが、十分説明できない。	地域の健康・栄養問題や計画策定に関する理解が乏しく、知識が不足している。
3, 公衆栄養活動の場での課題発見・解決を通じ、栄養・食生活情報を収集分析し、栄養評価に基づく適切な公衆栄養マネジメントを行うために管理栄養士として必要な専門知識及び技術の統合を図ることが出来る (D)。	幅広い専門知識や技術を統合し、公衆栄養活動の実践や課題解決に取り組む事ができる。	指導教員の助言を受け、幅広い専門知識や技術を統合し、公衆栄養活動の実践や課題解決に取り組む事ができる。	指導教員の手厚い指導の下、専門知識や技術を統合し、公衆栄養活動の実践や課題解決に取り組む事ができる。	公衆栄養活動や栄養評価に必要な専門知識や技術の統合が不十分であり、課題の解決に至らない。
4, 臨地実習中の公衆栄養活動や課題の実施を通じて、他者とのコミュニケーション能力及び多様な人々と協働する力を高めることができる (D,G)。	卓越したコミュニケーション能力や協働能力を持ち、チームのリーダーシップを取りながら、多様な人々と効果的に連携し、目標達成に貢献することができる。	コミュニケーション能力や協働能力を持ち、多様な人々と連携し、目標達成に貢献することができる。	一般的なコミュニケーション能力や協働能力を持ち、必要に応じて他者と協力することができるが、十分ではない。	コミュニケーション能力や協働能力が乏しく、他者との連携がうまくできない場面が多い。

※評価項目内の (B,D,G) は、ディプロマポリシーと対応する項目を指す